

アルゼンチンアリの駆除方法

4つの原則

アルゼンチンアリは、1993年の廿日市市における発見以来、様々な対応策が取られてきましたが、根絶には至らず、いまだに生息域を拡大しつつあります。そんな侵略的外来生物を少しでも減らすための知恵をまとめてみました。

① 広域で！！

- アルゼンチンアリの群れ（巣）は、ひろい地域に無数に存在します。
- そのため、家ごとに駆除しても、すぐに近隣から新たな群れが侵入してきます。
- そこで、連合町内会や自治会単位などで「**広域駆除**」を実施すべきです！！



② 一斉に！！

- 駆除が広域で実施されても、実施時期が異なれば、駆除が実施されて個体密度が低下した地域に、駆除が実施されていない地域から、たちまちアリが侵入してきます。
- そこで、「**広域駆除**」は「**一斉**」に実施すべきです！！

③ 定期的に！！

- 「**広域駆除**」を「**一斉**」に実施したとしても、群れ（巣）の一部は生き残り、駆除地域外からの侵入もすぐに始まります。
- そこで、いったん低下させた個体密度をそのまま維持するために、「**広域駆除**」を「**一斉**」かつ「**定期的**」に実施すべきです！！



④ 群れをたたく！！

- 良く目立つのは、移動しているアリたちですが、これらに殺虫剤をスプレーしても群れ（巣）を全滅させることはできません。
- そこで、「**ベイト剤**」（餌状殺虫剤）を使用したり、群れが営巣しているブロックや石垣の隙間などにスプレー式殺虫剤を直接吹きかけ、群れ（巣）ごと駆除すべきです！！